

Scale 1/43

#12014

available

09/2021

Limited edition 333 Stk.



## 変異モデル

タトラ 70は1930年に初めて一般に販売された。タトラ 70は1930年に初めて一般公開され、80型リムジンの代替として使用された。この2つのタイプには明らかに共通点があり、それがタイプ 70 の生産に影響を与えた。筒状のフレーム、サスペンション、ホイールなど多くの部品がタトラの両タイプに共通して使用されている。タイプ 70はより小型の直列水冷6気筒エンジン(排気量3.4L)を搭載。このエンジンは65hpを発揮し、時速110kmの速度を実現した。1931年から1932年の10月まで、タトラタイプ70はちょうど50台が生産された。タトラ社の経営陣がそれを成功と見なしたかどうかは分からない。その後、タトラ社は排気量3.8Lの大型エンジンを搭載したタイプ70aを発売した。1936年8月までにタトラはこの新しいタイプの車両を70台生産した。

タイプ 70および70aのすべてのバリエーションが、タトラのクラシックなボディであったわけではない。タイプ 70/70aの全体的に頑丈な構造は、新しい消防車の購入

をしようとしていた自治体に採用された。

この消防車を客観的に見ると、4ドアコンバーチブルの構造をしていることが分かる。フロントガラス周りのフレームはタトラのコンバーチブルと同じであり、少し想像力を働かせればそこに4ドアの車体を思い浮かべることができる。消防車への改装時に元々あったドアが取り外され、そのおかげで素早い乗り降りが可能となり、消防機材の積み下ろしにかかる時間も最小限に抑えられた。

車体後部の両サイドに設置された2つのホースリールに、消火用ホースが巻かれた状態で備えられた。そのホースはフロントのウォーターポンプに接続されている。さらにこのポンプはエンジンに接続され動力を得ていた。

タイプ70と70aの消防車バージョンがどれくらい作られたかは不明である。

AutoCult GmbH  
Äußere Further Straße 3  
90530 Wendelstein  
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280  
ファックス +49 / 9129 / 296 4281  
info@autocult.de

www.autocult-models.de